

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 7 日作成)

小委員会名	構造形態創生小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)	
設置期間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (簡条書き)	<p>シェル・空間構造における構造形態創生に対する調査・分析・整理及び普及活動とこれらに関するコロキウム等の開催活動を継続的に実施する。また、実務者や研究者間の情報交換を図り、社会に最新情報の提供を行う。</p> <p>初年度：「コロキウム構造形態の解析と創生 2015」の企画及び開催（内容：一般講演，特別講演，招待講演，形態創生コンテストの実施，形態関連情報の報告，その他，コロキウム 10 回記念イベントの企画立案と運営） 形態創生に関する研究会などを通して，形態創生法の調査・分析・整理を行う。</p> <p>2 年度：「第 11 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2016」の企画及び開催 形態創生に関する研究会などを通して，形態創生法の調査・分析・整理を行う。 形態創生の入門書の出版企画についても検討する。</p> <p>3 年度：「第 12 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2017」の企画及び開催 形態創生に関する研究会などを通して，形態創生法の調査・分析・整理を行う。 形態創生の入門書の出版企画についても検討する。</p> <p>4 年度：「第 13 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2018」の企画及び開催 形態創生法の調査・分析・整理による成果を報告書或いは書籍として刊行し，大会 PD やシンポジウムにより公表する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：熊谷知彦 (明治大学) 幹事：浜田英明 (法政大学)，永井拓生 (滋賀県立大学) 委員：ガン プンタラ (日本大学)，木村俊明 (京都大学)，館 知宏 (東京大学)，張 景耀 (名古屋市立大学)，陳 沛山 (九州工業大学)，永田洗大 (大建設計)，野村圭介 (東海大学)，藤田慎之輔 (北九州市立大学)，松尾智恵 (川口衛構造設計事務所)，三井和男 (日本大学)，山本憲司 (東海大学)，横須賀洋平 (鹿児島大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	80,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s17/</p>

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	1. 第 13 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2018 参加者数 74 名 『同名資料』
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 「第 13 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2018」を予定通り開催し，構造形態創生に関する最新の情報発信を行った。なお，一般講演 15 題に加えて，一昨年度から設けた技術報告（建築物，プロジェクトなどに応用した事例）のカテゴリーにおいても 6 題の講演がなされた。また，今年度は本コロキウム開催のきっかけとなるシンポジウムを開催された半谷裕彦先生の没後 20 年記念企画を実施し，構造形態創生の発展と現在の状況についての特別講演を企画した。</p> <p>2. 委員会での話題提供により，構造形態創生の動向について情報交換を行った。</p> <p>3. Web にこれまでのコロキウムの内容を整理し，情報発信を行った。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 委員会の情報発信力を高めるため，3 年以上経った過去のコロキウム資料集を Web で無償公開する計画であるため，今年度中に実施する。</p> <p>2. コロキウム開催以外の活動についても検討する。</p>